第 98 回佐賀県原子力環境安全連絡協議会 資料 6 (別冊)

# 令和5年度温排水影響調査結果<参考資料>

### I. 拡散調査

- 1. 水温水平分布
- 2. 水温鉛直分布

## II. 付着生物調査

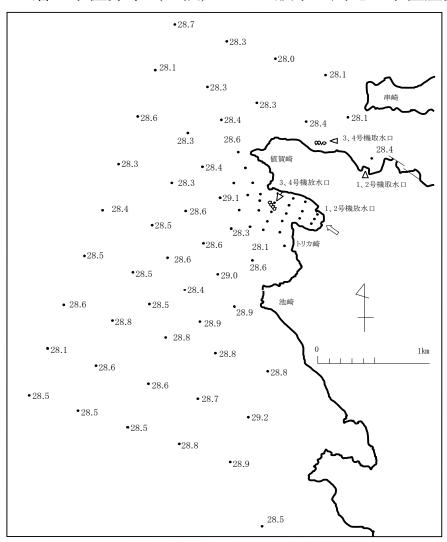
- 1. 主な付着生物出現種一覧(夏季)
- 2. 付着生物調査結果(夏季)
- 3. 主な付着生物出現種一覧(冬季)
- 4. 付着生物調査結果(冬季)

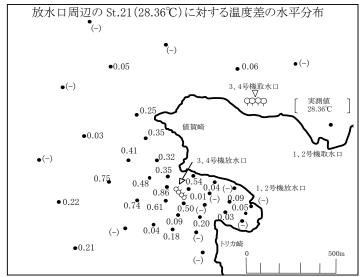
## I. 拡散調査

#### 1. 水温水平分布

## 【夏季 (下げ潮時)】

水深 1m層の水温分布(上段) および放水口周辺の水温差分布(下段)

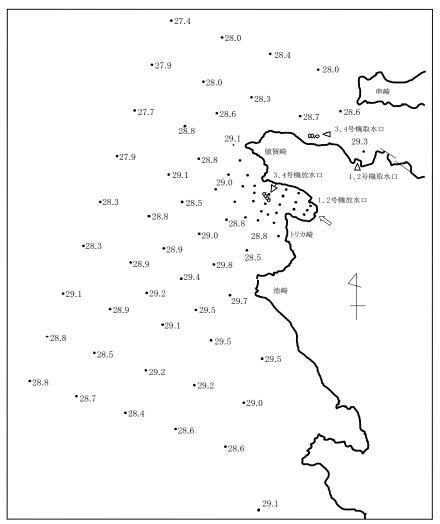


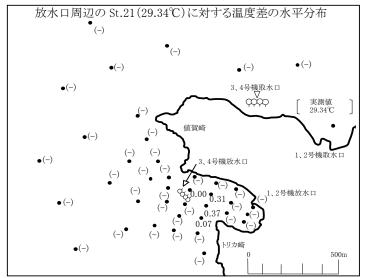


(-):取水口付近(st.21) に対し、低い水温 が観測された地点 を示す

## 【夏季 (上げ潮時)】

水深 1m層の水温分布(上段) および放水口周辺の水温差分布(下段)

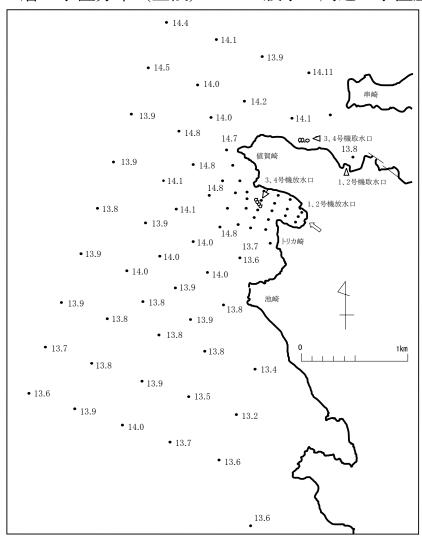


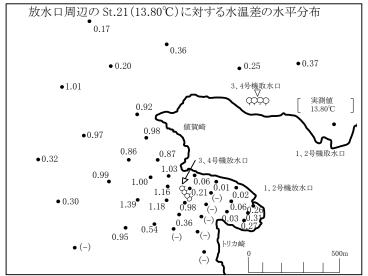


(-):取水口付近(st.21) に対し、低い水温 が観測された地点 を示す

## 【冬季 (下げ潮時)】

水深 1m層の水温分布(上段) および放水口周辺の水温差分布(下段)

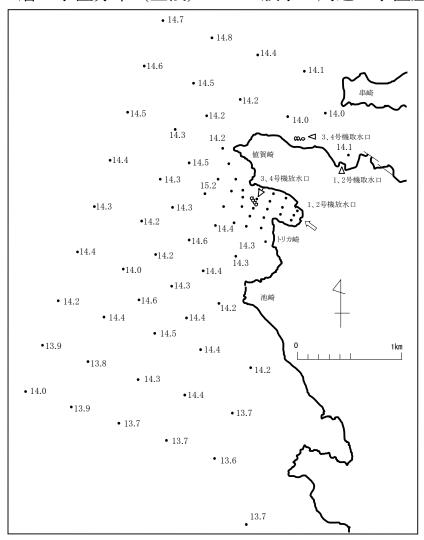


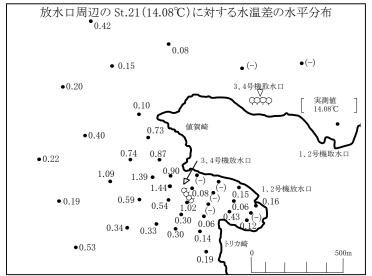


(-):取水口付近(st.21) に対し、低い水温 が観測された地点 を示す

## 【冬季 (上げ潮時)】

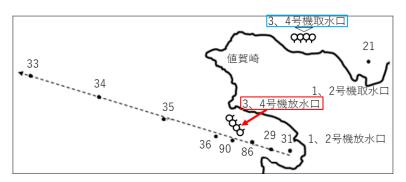
水深 1m層の水温分布(上段) および放水口周辺の水温差分布(下段)

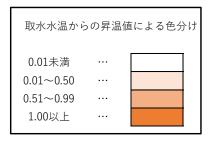




(-):取水口付近(st.21) に対し、低い水温 が観測された地点 を示す

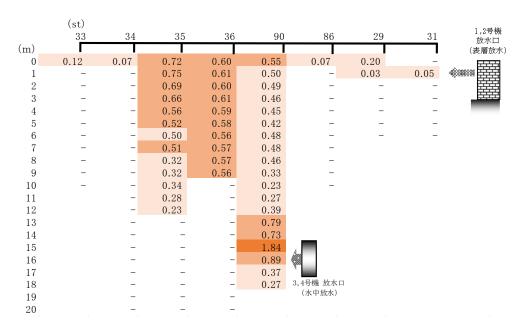
## 2. 水温鉛直分布



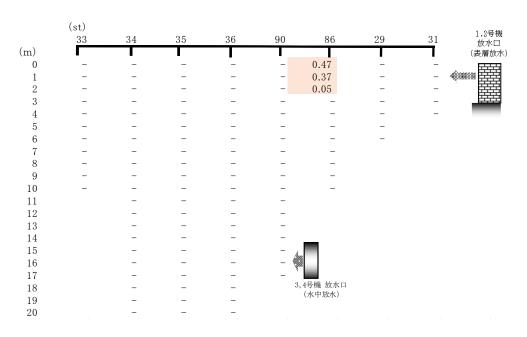


- :取水水温に対し、低い水温が観測された地点

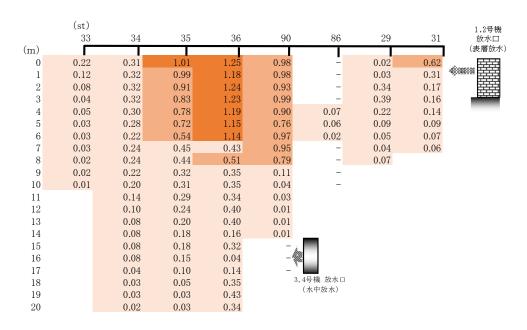
#### 【夏季(下げ潮時)】



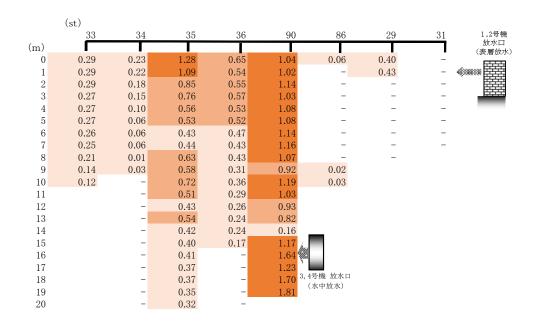
## 【夏季 (上げ潮時)】



# {冬季 (下げ潮時)】



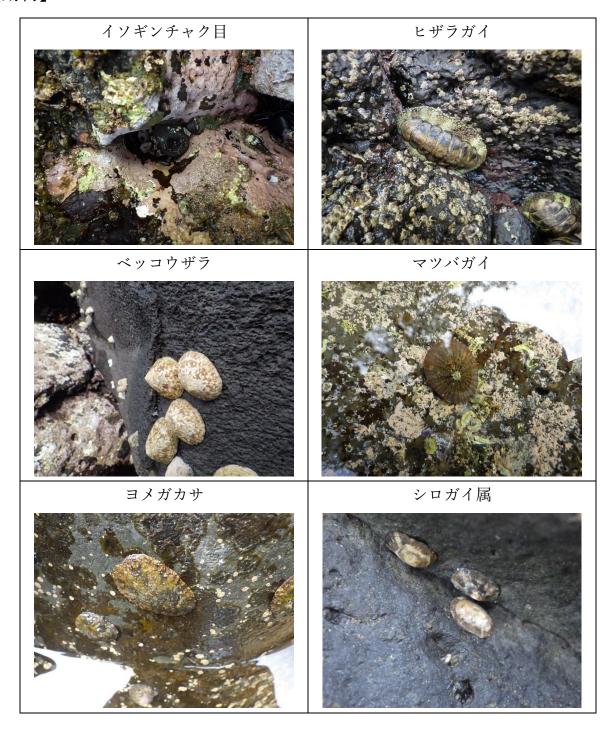
## 【冬季 (上げ潮時)】

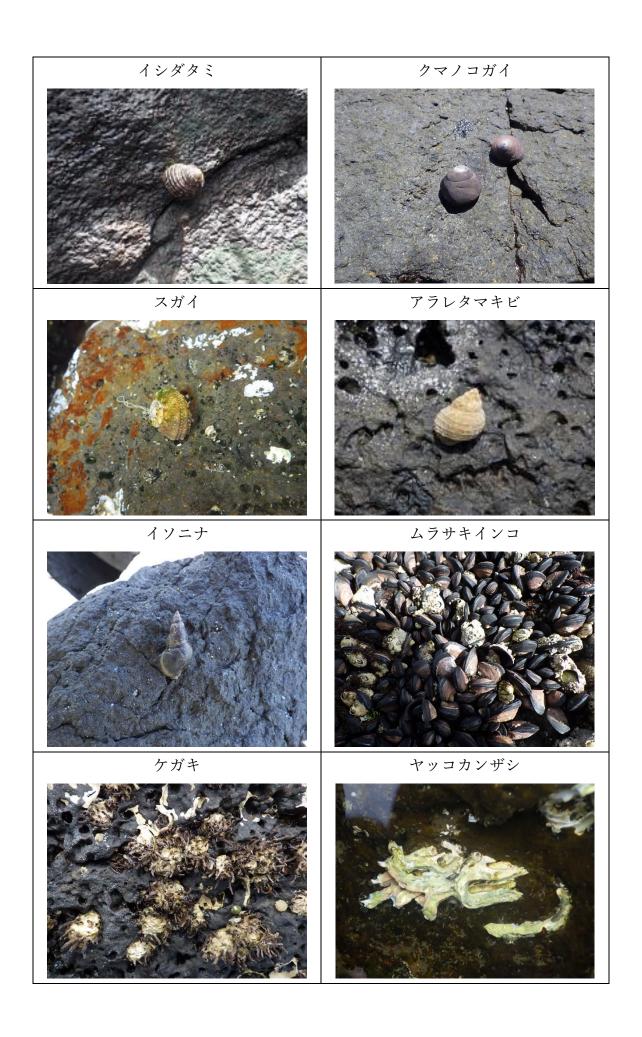


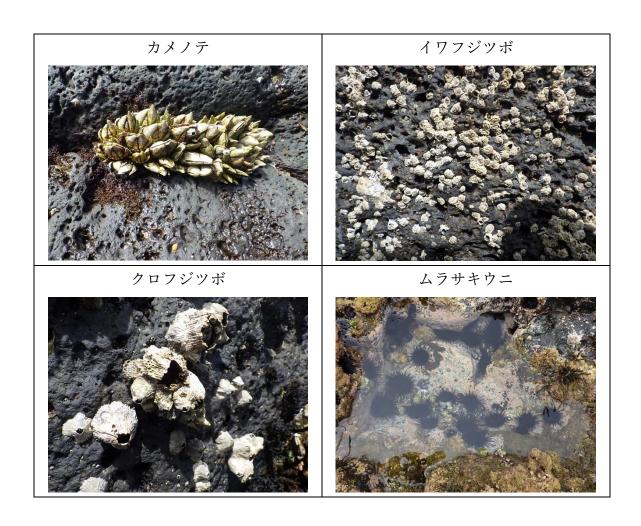
# II. 付着生物調査

1. 主な付着生物出現種一覧(夏季)

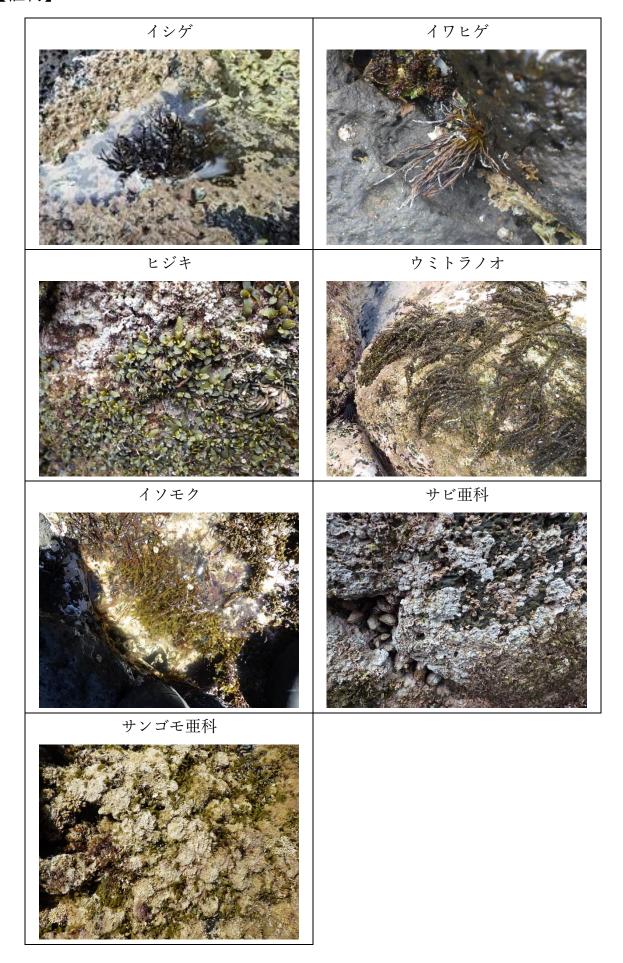
# 【動物】







# 【植物】



## 2. 付着生物調査結果(夏季)

## 【潮間帯付近の動物】

No.			4年来	5						調査	側線				
NO.		種類					B-3	B-4	C-1	C-2	D-1	D-3	E-1	E-2	E-3
1	刺胞動物門	花虫綱	イソキ・ンチャク目		イソキンチャク目	r	r		r		r	r	r	r	r
	軟体動物門	ヒサ・ラカ・イ綱	ヒサ・ラカ・イ目	ヒサ゛ラカ゛イ科	ニシキヒサ゛ラカ゛イ				r				r		
2**					ヒサブラガイ	С	С	С	С		r	r	С	r	r
				ケハタ゛ヒサ゛ラカ゛イ科	ケハタ゛ヒサ゛ラカ゛イ科				r		r	r	r	r	
		マキカ・イ綱	オキナエビス目	ツタノハ科	ヘ゛ッコウサ゛ラ		r				r	r			
					マツハ゛カ゛イ		r		r	r	r	С	r		r
3**					ヨメカ゛カサ		r	r	С	С	С	r	С		r
3				ユキノカサ科	ウノアシ	r	r		r	С	r	r	r	r	r
					シロカ・イ属	r		r	С		r	С		r	r
					アオカ・イ属				r		С	С	r		r
4				ニシキウス・科	イシタ・タミ						r	С	r		r
5					クボガイ						r		r		
6					クマノコカ・イ						r	r	r		
7					オオコシタカカ゛ンカ゛ラ				r						
8					コシタカカ・ンカ・ラ						r		r		
9				リュウテン科	ササ゛エ				r						
10					スガイ	r			r					С	
11				アマオフ゛ネ科	アマカ・イ						r	С	r	С	
12**			ニナ目	タマキピカイ科	アラレタマキヒ゛	СС	сс	сс	С	С	сс	сс	С	сс	С
12**					タマキヒ゛カ゛イ科							С			
13				ムカデガイ科	オオヘビガ゙イ						r				
14			バイ目	アクキガイ科	レイシカ・イ	r	r		r				r		
15					イボニシ	r	С	r	С	r	r	r	С		r
16				エゾバイ科	イソニナ				r		r	r	r		
17		ニマイカ・イ綱	イガイ目	イガイ科	ムラサキインコ (被度%)	С	сс	СС	сс	СС	r	r		r	r
18			ウグイスカイ目	イタボガキ科	ケガキ	r		С	сс	сс			r	r	r
19			ハマグリ目	イワホリガイ科	イワホリカ・イ科		r	r	r		r				
20	環形動物門	ゴカイ綱	ケヤリ目	カンサ・シコ・カイ科	ヤッコカンサ・シ (被度%)	r	r	r	r		r	r	r	r	r
21	節足動物門	甲殼綱	フシ゛ツホ゛目	ミョウカ゛カ゛イ科	カメノテ (被度%)	r	сс	r	С	r	r	r	r	С	r
22				イワフジツボ科	イワフジツボ(被度%)	сс	r	r	r		r			r	r
23				フジツボ科	クロフジツボ(被度%)	сс	сс	сс	r	сс			сс	r	r
24	棘皮動物門	ウニ綱	ホンウニ目	ナガウニ科	ムラサキウニ	r	С	r	С						

注 1: 「r:極少量見られる c:少量見られる cc:普通に見られる cc:多く見られる」

注 2: 「No.2、No.3、No.12」は、H10 年度の調査結果と比較するため、旧分類でまとめて計上

注3:個体数として計測することが困難な種類は被度(%)で測定し、種類の欄に「(被度%)」と記載

## 【潮間帯付近の植物】

NI-		種類						調査側線									
No.			性彩	₹		A-3	B-3	B-4	C-1	C-2	D-1	D-3	E-1	E-2	E-3		
1	緑藻植物門	緑藻綱	アオサ目	アオサ科	アオサ属	r	r		r				r	r	r		
2	褐藻植物門	同形世代綱	アミシ゛ク゛サ目	アミシェクサ科	アミシケサ科		r				r		r				
3			ナカ・マツモ目	イシゲ科	イシケ゛	r	сс	r	r	r	r		r	r	r		
4			ハハ゛モト゛キ目	コモンブクロ科	イワヒケ゛	r					r				r		
5		円胞子綱	ヒバマタ目	ホンタ゛ワラ科	ヒシキ	С	С	С	С	С	r		С		r		
6					ウミトラノオ	С	r	r	r		r		r	С	С		
7					イソモク						r						
8					ホンタ・ワラ属			r			r						
9	紅藻植物門	真正紅藻綱	テングサ目	テングサ科	ヒメテンク゛サ	r	r	r	r		r	r	r	r	r		
10					テングサ科	r	r				r	r	r		r		
11			カクレイト目	サンゴモ科	サビ亜科	С	С	С	сс	сс	сс	r	сс	r	сс		
12					サンコ・モ亜科	С	С	r	r	СС	r		r		r		

注 1: 「r:極少量見られる c:少量見られる cc:普通に見られる cc:多く見られる」

#### <凡例> 【潮間帯付近の動物】

平均個体数(個/枠)

1個未満	r
1個以上~10個未満	С
10個以上~50個未満	СС
50個以上~100個以下	CCC

#### 【潮間帯付近の植物】

平均被度(%)

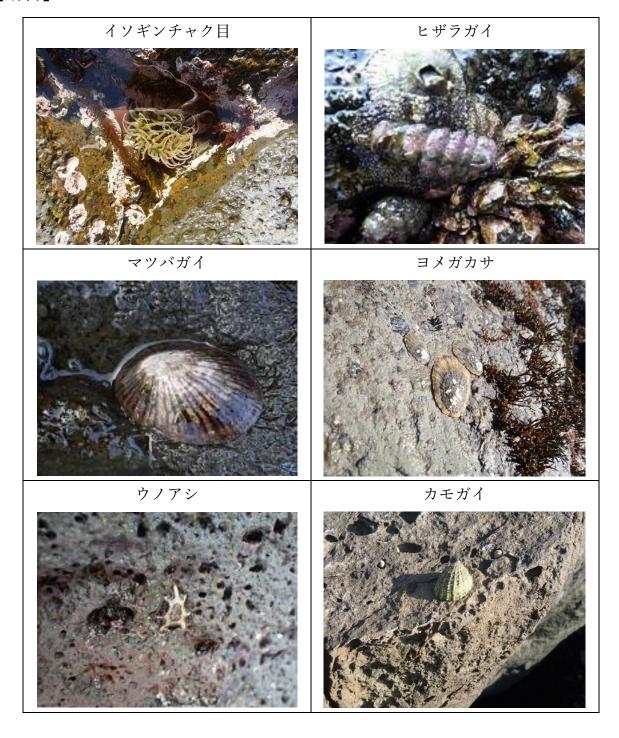
1%未満	r
1%以上~5%未満	c
5%以上~20%未満	сс
20%以上~100%以下	ccc

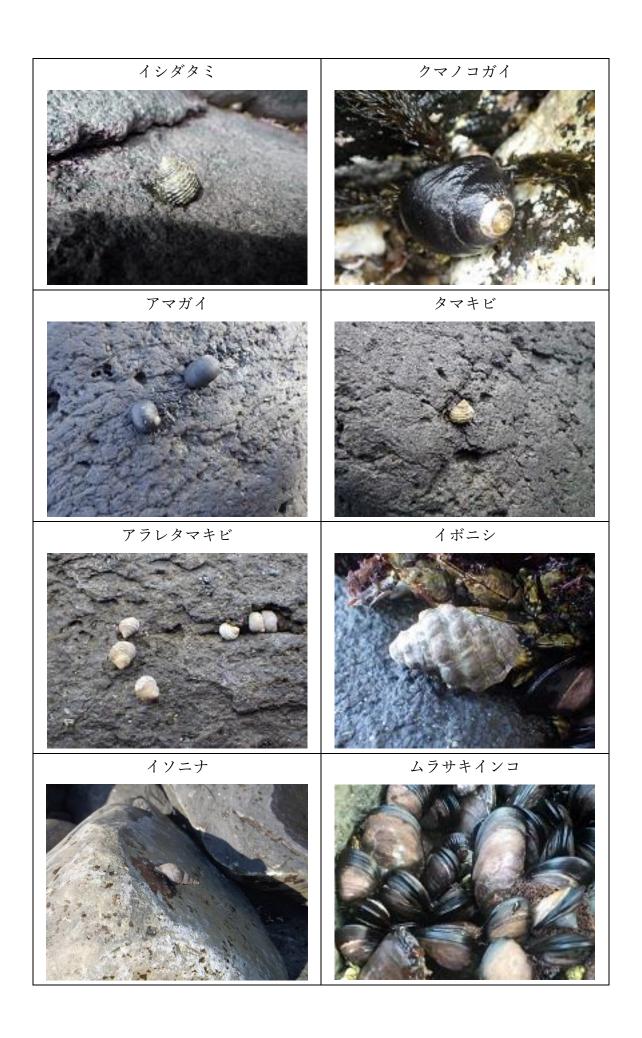
#### 平均被度(%)

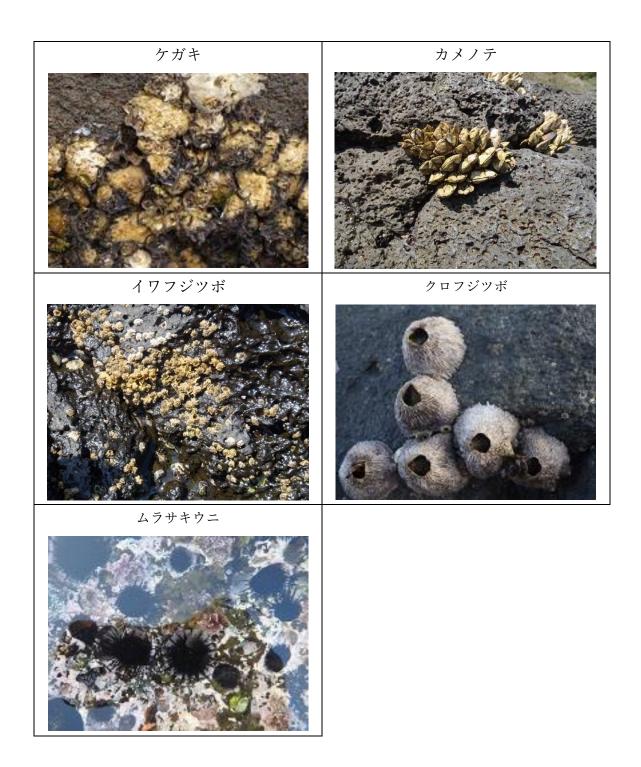
0.1%未満	r
0.1%以上~1%未満	С
1%以上~10%未満	СС
10%以上~100%以下	CCC

# 3. 主な付着生物出現種一覧(冬季)

# 【動物】

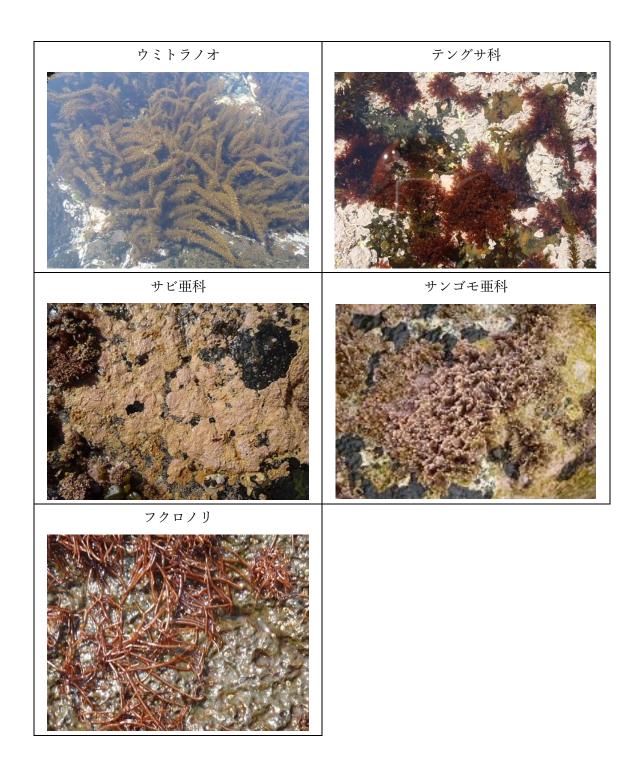






# 【植物】





## 4. 付着生物調査結果(冬季)

## 【潮間帯付近の動物】

No.									調	査	測	線			
INO.		種 類				A-3	B-3	B - 4	C-1	C-2	D-1	D-3	E-1	E-2	E-3
1	刺胞動物門	花虫綱	イソキ゛ンチャク目		イソキンチャク目	r	С	С	С	r	r		С	r	r
	軟体動物門	ヒサ゛ラカ゛イ綱	ヒサブカイ目	ヒザラガイ科	ニシキヒサ゛ラカ゛イ				r	r			С		
2**					ヒサ゛ラカ゛イ	r	С	С	С	r		r	сс	r	С
					ケハタ゛ヒサ゛ラカ゛イ科		r		r	r			r		
		マキカ゛イ綱	オキナエピス目	ツタノハ科	ヘ゛ッコウサ゛ラ		r				r	r			
					マツハ゛カ゛イ		С		r	r	r	С	сс	r	r
					ヨメカ゛カサ	С	С	r	С	С	с	С	сс	r	С
3**				ユキノカサ科	ウノアシ	r	r	r	r	С	r	r	С	r	r
					カモカ・イ										r
					シロガイ属	С	С	С	С	С	С	r	С	r	С
					アオカ・イ属		С		r	r	С	сс	С		С
4				ニシキウス 科	イシダダミ				r		r	С	С	r	r
5					クロツ゛ケカ゛イ						r	r	r		
6					クホ゛カ゛イ						r				
7					クマノコカ・イ				r		r	r	С		r
8				リュウテン科	スカ・イ				r					r	
9				アマオフィネ科	アマカ・イ						С	С		С	
			ニナ目	タマキピカイ科	タマキビ	r		С	r	r	с	С	С	с	r
10**					アラレタマキビ	ccc	сс	ссс	сс	сс	сс	сс	сс	сс	cc
10					コピトウラウズ(被度%)	r								r	
					タマキビガイ科	С			r			r			С
11			バイ目	アクキカ・イ科	レイシカ・イ	r									
12					イホ*ニシ	С	С	С	С	r	r	r	С	r	r
13				エゾバイ科	イソニナ				r		r		С		
14		ニマイカ゛イ綱	イガイ目	イガイ科	ムラサキインコ(被度%)	r	С	сс	сс	r	С	С	r	r	r
15			ウク・イスカ・イ目	イタホ゛カ゛キ科	ケカ゛キ	r		r	сс	сс			r	r	
16			ハマグリ目	イワホリカ・イ科	イワホリカ・イ科		r								r
17		コ゛カイ綱	ケヤリ目	カンサ゛シコ゛カイ科	ヤッコカンザシ(被度%)	r	r	r	r	r	r	r	r	r	r
18	節足動物門	甲殼綱	フシ゛ツホ゛目	ミョウカ゛カ゛イ科	カメノテ(被度%)	r	сс	С	r	r	С	С	r	С	r
19				イワフシ`ツホ`科	イワフジツボ(被度%)	ccc	r	r						r	r
20				フシ゛ツホ゛科	クロフジツボ(被度%)	сс	cc	сс	r	r			сс	r	r
21	棘皮動物門	ウニ綱	ホンウニ目	ナカ・ウニ科	ムラサキウニ	r	С	r	r						

注 1: 「r:極少量見られる c:少量見られる cc:普通に見られる cc:多く見られる」

注  $2:\lceil No.2$ 、No.3、No.10」は、H10 年度の調査結果と比較するため、旧分類でまとめて計上

注3:個体数として計測することが困難な種類は被度(%)で測定し、種類の欄に「(被度%)」と記載

## 【潮間帯付近の植物】

No.									調	查	測	線			
INO.		種 類				A-3	B-3	B-4	C-1	C-2	D-1	D-3	E-1	E-2	E-3
1	緑藻植物門	緑藻綱	アオサ目	アオサ科	アオサ属	r	r		r	r			r	r	r
2			ミル目	い科	ミル属				r						
3	褐藻植物門	同形世代綱	アミシ・ケ・サ 目	アミシ゛ケ゛サ科	アミシ゛ケ゛サ科	r			r				r		
4			ナカ・マツモ 目	ネバリモ科	シワノカワ	г	r		r	г			r		r
5				イシゲ科	イシケ゛	r	сс	r	r	r			С	r	r
6					100								r		
7			ハハ゛モト゛キ目	コモンブクロ科	イワヒケ゛	r				r	r			r	r
8				カヤモ川科	フクロノリ	r	r		r		r		r		
9					ハバリ類	г	r	г	r	r	r		r	r	r
10			コンブ 目	コンプ科	ワカメ		r								
11		円胞子綱	ヒバマタ目	ホンタ・ワラ科	ヒシ゛キ	С	сс	С	С	сс	С		С		С
12					ウミトラノオ	r	r	С	r				С	r	С
13					イソモク		r	r		r					
14	紅藻植物門	真正紅藻綱	テンク・サ 目	テングサ科	ヒメテンク・サ	r	r	r	r	r	r	r	r	r	r
15					テングサ科	r			r	r	С		r	r	r
16			カクレイト目	サンゴモ科	サビ 亜科	С	сс	С	сс	сс	сс	С	сс	r	сс
17					サンコ・モ亜科	С	С	r	r	сс	г		r		r
18				フ川科	フクロフノリ	r			r		r	r	r	r	
19			イギス目	フシ゛マツモ科	ソゾ属	r					г		r		

注 1: 「r:極少量見られる c:少量見られる cc:普通に見られる cc:多く見られる」

#### <凡例> 【潮間帯付近の動物】

平均個体数(個/枠)

1個未満	r
1個以上~10個未満	С
10個以上~50個未満	СС
50個以上~100個以下	CCC

#### 【潮間帯付近の植物】

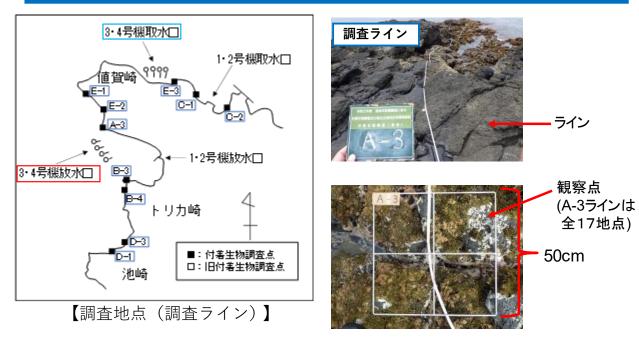
平均被度(%)

1%未満	r
1%以上~5%未満	c
5%以上~20%未満	сс
20%以上~100%以下	ccc

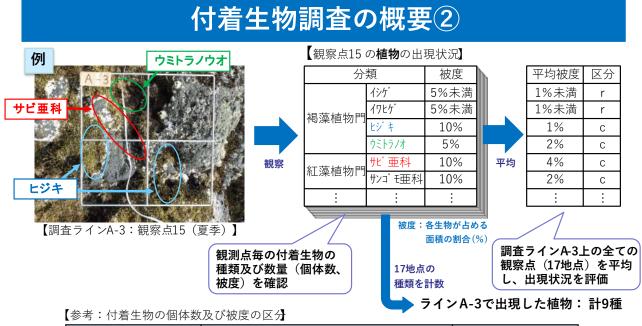
#### 平均被度(%)

0.1%未満	r
0.1%以上~1%未満	С
1%以上~10%未満	СС
10%以上~100%以下	CCC

# 付着生物調査の概要



岸側から海岸線までラインを引き、1.5m間隔で縦横50cmの枠内の付着生物を調査。 調査ラインは全10ライン。(最短6m、最長33m)



区分		動	動物					
		平均個体数(個/枠)	平均被度(%)	平均被度(%)				
r	極少量見られる	1個未満	0.1%未満	1%未満				
С	少量見られる	1個以上~10個未満	0.1%以上~1%未満	1%以上~5%未満				
СС	普通に見られる	10個以上~50個未満	1%以上~10%未満	5%以上~20%未満				
ссс	多く見られる	50個以上~100個以下	10%以上~100%以下	20%以上~100%以下				